

ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク 平成20年度事業計画

1. 実施方針

ネットワーク会員間の情報交換や学習活動などを通じて、交流・連携促進をはかるとともに、県民を対象にした普及啓発イベント等を通して、県民が食の安全・安心を実感でき、豊かな食生活を送ることができる社会の実現に向けて、県民一人ひとりが主体となり、食の安全・安心の確保に取り組む「ぐんま食の安全・安心県民運動」を推進させます。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 会員交流促進事業

各会員が実施する食の安全・安心の確保に関する取組について情報交換し、相互理解の促進をはかります。

また、県の食品安全施策に関する学習会や群馬県食品衛生監視指導計画に関する意見交換の機会を持ちます。

(2) 食の安全・安心の確保に関する情報の収集・提供事業

各会員が実施する食の安全・安心の確保に関する取組についての情報を収集し、ホームページや会報紙などにより会員や県民に対して情報提供を行います。

(3) ネットワーク愛称募集事業

ネットワークを広く県民に周知するとともに、県民運動について関心を持ち・理解を深めてもらうために、ネットワークの愛称募集と、イベント等で配布する啓発用リーフレットの作成を行います。

(4) リスクコミュニケーション事業

多くの県民に食品の安全性に関する知識を習得してもらうことと、生産者や事業者における食の安全・安心の確保への取組を知ってもらい、相互理解・相互交流をはかることにより、お互いの立場や役割を知ってもらうことが、県民

運動を推進するうえで必要不可欠なため、リスクコミュニケーション事業を実施します。当該事業は群馬県と協働・連携して実施します。

①意見交換会「地域語部の会」事業

県内各地域の県民を対象に、当該地域の県民ニーズに応じた食の安全・安心に関するテーマで意見交換会を開催し、地域における食品の安全に関する普及啓発をはかります。

■年2回（参加者数：100人／回）

②「食の現場探求隊」事業

県民を対象に、農場や食品製造工場など生産現場を見学し、直接、事業者と意見交換を行うバスツアーを実施し、生産者や事業者における食品の安全性確保の取組を知ってもらい、相互理解・相互交流をはかります。

■年2回（県内1か所、県外1か所）

③食の安全・安心セミナー

多くの県民に食品の安全性に関する全般的・総合的な知識を学習する機会を提供し、正しく食品の安全性について理解してもらうとともに、食品の安全は自分たちで守るということを認識してもらいます。

■年1回（参加者数：100人／回）

④リスクコミュニケーション・セミナー

主に生産者、事業者を対象に、リスクコミュニケーションの技術の学習や先進的事例を紹介し、県内での効果的なリスクコミュニケーションを推進させることにより、県民と生産者、事業者との相互理解・相互交流をはかります。

■年1回（参加者数：100人／回）

⑤その他

○地域指導者育成事業について〈参考〉

当該講座は食品安全委員会と地方自治体との共催で開催され、平成18年度から開始された。

目的は、地域におけるリスクコミュニケーションを積極的に推進するため、食品のリスク分析の考え方や食品安全委員会の活動等を自ら理解し、判りやすく説明できる人材の育成であり、対象は①食の安全に関する学歴、職歴または資格を有する者であって、食品に関する知識や経験を有する者、または②地域における食の安全に関する活動経験を有する者であって、食品に関する知識や経験を有する者である。

講座は1日で終了し、内容はゲーミングシミュレーションの手法を用いて、相手の立場を理解し、コミュニケーション能力の向上をはかる。

また、今年度から、当該講座の受講生を対象のステップアップ講座として、ファシリテーションスキル（会議を円滑に進行させるための技術）を学習する「リスクコミュニケーター育成講座」を開催している。